

「みんなが幸せに」

多久市立東原庠舎西溪校 6年 とおだ ゆな
遠田 結菜

日本では、いろいろな人が罪を犯します。子どもでも、罪を犯す人がいます。

罪を犯した人たちは、罪を犯したくてしたのでしょうか。私はそうではないと思います。罪を犯した人たちにも、それぞれ理由や背景があるのだと思います。例えば、親からの愛情をあまりもらえていなかったり、学校でいじめを受けていたり、お金に困っていたり、みんなそれぞれの背景があり、ストレスを抱えているのだと思います。そうして抱えきれなくなったストレスが犯罪として表れているのかなと思いました。

だから、私は犯罪者だけが悪いとは思いません。親か家族からの愛情を受けることができなかった環境と、その人をいじめたり、助けようとしなかったりした人たちも悪いのかなと思いました。

もちろん、犯罪はいけません。でも、そういった理由や背景がある人たちを一方向的に責めたり、理解をしようとしなかったりするのには、絶対にいけないと思います。そうすることで、また罪を犯してしまう人たちもいるのではないかと思いました。

18歳以下の人が犯罪をすると、それは親の責任になります。そのことを分かっていないと、子どもなら罪を犯すことは仕方ない、罪を犯しても子どもだから警察に捕まらないから大丈夫だと思う人もいるのではないか

と思います。でも、それは違うと思います。警察に捕まらないから犯罪をしてもいいという訳ではありません。必ず自分がしたことをふり返って反省したり、罪をつぐなったりしないといけないと思います。そして、親か友だち、親せきの人たちにもめいわくをかけてしまうと思います。

私は、普段の生活でも優しい言葉をかけてあげたり、人を思いやったり、一人ぼっちにさせたりしないことなど、できることがあると思います。罪を犯す人を減らしたい、犯罪のない世の中にしたい、という気持ちがあるのなら、どんな人にも優しい態度で接したり、思いやりの気持ちを持って行動したり、人と笑顔で接したりすることが大切だと思います。そうすることで、軽い気持ちで罪を犯したり、誰かにストレスをぶつけるように犯罪をしたりすることが減っていくのではないかと思います。環境や人とのかかわりによって犯罪が生まれているのだとしたら、私たちの行動で犯罪を減らし、明るい社会をつくることができるのではないかと感じました。

私は、明るく楽しく、笑顔で平和な社会を作りたいなと思います。そのために、私は誰にでも優しくしたり、応援したりし、人によって態度を変えたり、誰かの悪口を言ったりしないようにしたいと思いました。犯罪が完全になくなることは難しいと思うけど、少しでも私たちの行動で減らしていけたらいいなと思いました。